

## 日本最大のクルーズ船「飛鳥II」がひびき港に初寄港しました！

平成29年9月21日（木）、日本最大のクルーズ船「飛鳥II」がひびき港に寄港しました。同船は、ひびき港へ寄港する、初めての日本船籍のクルーズ船となります。

午前8時30分、「飛鳥II」は、響灘地区にすらりと並ぶ10基の風車をバックに入港しました。入港時は北九州市立大学吹奏楽団によるウェルカムコンサートを開催。懐かしの名曲や最新のヒットソングを演奏しゆるキャラたちと一緒に賑やかにお出迎えしました。

着岸後、岸壁で開催された歓迎セレモニーには「飛鳥II」の増山船長をはじめ、北九州市港湾空港局長など関係者が出席しました。北九州市からは、小倉城が描かれたスチールアートの記念盾と北九州港マスコットキャラクター「スナQ」のぬいぐるみ、歓迎の花束を贈呈しました。また、返礼品として「飛鳥II」オリジナル紅白ワインをいただきました。

岸壁では、ひびき港初となる物販ブース「おもてなしマルシェ」を開催。小倉名物「ぬか炊き」や門司港名物「焼きカレー」など、北九州市ならではの特産品やこだわりの商品を取り揃えておもてなししました。また、この日のために特別に作った、門司猿喰（さるはみ）の甘酒アイスクンデーを乗客の皆さまにふるまいました。当日は秋晴れの日だったため、冷たいアイスクンデーは大好評で、たくさんのお客さまに喜んでいただきました。

午後からは、定員の10倍を超える応募者の中から選ばれた市民39名を対象に「船内見学会」を開催。吹き抜けのロビーやギャラクシーラウンジ、屋上プールなど豪華な船内を見学しました。見学後、参加者からは「日本を代表する夢のクルーズ船内を見学できて嬉しかった」「ぜひ優雅な船旅を楽しんでみたい」などの感想が聞かれ、クルーズ船をより身近に感じていただくことができました。

出港時は、若松中学校吹奏学部によるお見送りコンサートを開催しました。午後5時、出港のドラが鳴ると、船から色とりどりの紙テープが投げられ、船と岸壁をつなぐセイルアウェイセレモニーが行われました。岸壁から声を揃えて「また来てね〜！」とメッセージを送ると、乗客の皆さまから「ありがとう〜！」という大きな返事が返ってきました。大きな汽笛と共に「飛鳥II」は、次の寄港地「隠岐」へ向けて出港。船が遠ざかるまで手を振り合いながらお見送りし、感動的な出港風景となりました。



青空の下、ひびき港へ初入港する「飛鳥II」



北九州市立大学によるウェルカムコンサートで賑やかにお出迎え



港湾空港局長よりスチールアートの記念盾を贈呈



「飛鳥Ⅱ」増山船長を囲んで記念撮影



ひびき港初開催のおもてなしマルシェは大盛況



甘酒アイスキャンデーをふるまい、温かくおもてなしました



ゆるキャラたちが勢ぞろいし、乗客の皆さまを大歓迎



豪華な船内に感嘆の声があがった市民見学会



心の込もったコンサートで盛大にお見送り



北九州港へのまたの寄港を心よりお待ちしております！